

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 S46年～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	02 商業
事務事業名			02 地域振興活性化事業
根拠法令・規程等			備前市補助金等交付規則
問			担当課(室) 商工観光課
合			職・氏名 商工労政係長 中島和久
先			電話 0869-64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	事業者、商工団体
目的(何のために)	地域活性化につながるイベントを実施、支援することにより市外観光客の増員、地元商店街の売上増を図る。
行政活動(どのような方法で)	備前まつり(花火大会含む)、サンバースフェスティバル(鯖まつり)、まほろばウォーク、日生夏まつり(花火大会含む)、サマーフェスティバル(花火大会含む)、三石夏まつり、ひなせ甚九郎まつり(牡蠣まつり)、片上ひなまつりなどのイベントの実施。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地元商業、水産物のPRを各種イベントを通じて行い、地域活性化につなげる。

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	補助件数		件	9	8	8
実績	イベント集客数		人	169,000	187,000	116,920
	事業費		千円	13,786	9,750	6,567
業績	必要人員		人	1.09人	1.08人	0.99人
	事業費計		千円	21,865	17,380	13,903
財源	国・県・支・出・金					
	受・益・者・負・担・金					
一	市・債・借・入・金					
	その他( )					
受・益・者・負・担・比・率		%				

結果指標						
結果指標①	補助件数	説明	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	対前年比	補助金を出しているイベント数	件	9	8	8
結果指標②	対前年比		%	100.0%	88.9%	100.0%
	活動コスト		円	21,865,000	17,380,000	13,903,000
結果指標③	対前年比		%	62.5%	110.7%	62.5%
	活動コスト		円	21,865,000	17,380,000	13,903,000
結果指標④	対前年比		%	100.0%	100.0%	62.5%
	活動コスト		円	129	93	119

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		169,000	187,000	116,920	187,000
イベント集客数	実績値(B)	169,000	187,000	116,920	到達目標年度
	達成率(B/A)	100.0%	100.0%	62.5%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
各種イベントの来場者数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	各イベントは、地域に根付いているまつりではあるが、一過性のため本来の活性化に結びついていない。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 市内外の観光客等の動員には有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながってはいない。また、市民から、合併後4年経過したのだから、花火の統一や見直しを行ったらどうかという声や市民や実行委員会の委員からも出ている。	有効性評価<A~E> C
	市民参画度		判定理由・課題認識

平成21年度の状況									
目標値	結果指標量①			結果指標量②			成果指標量		12万人
	7事業			12万人			12万人		
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
			○						
説明	まほろばウォーク事業については、当初諸島観光PRとして実施していたが、参加者数の半減、固定化により、新規参加者がほとんどないため、平成21年度から廃止した。								

総合評価		評価区分<A~E>
備前まつり等地域活性化につながるイベントの実施、支援することにより、市外観光客の増員を図っているが、今後は、コスト削減を徹底し、費用対効果を勘案し、市主催のイベントの統廃合を実施し、効率のよい事業実施をめざす。		D

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
				○		
説明	イベントに対する補助金の削減のみならず、廃止を含めて検討すべき時期にきている。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	事業実施方法の見直し	H23	イベントの統廃合による補助金の削減		